2026年11月12日

各　位

東京都千代田区平河町二丁目５番３号
株式会社ガイアックス
代表執行役社長　上田　祐司
（コード番号：3775　名証ネクスト市場）
（連絡先）執行役　野澤　直人
ＴＥＬ　０３－５７５９－０３００

2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年２月13日に公表いたしました通期連結業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

１．通期業績予想の修正について

2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	3,300	250	220	180	35.28
今回修正予想（Ｂ）	3,300	0～50	0～50	△30～20	△5.89～3.93
増減額（Ｂ－Ａ）	0	△250～△200	△220～△170	△210～△160	－
増減率（％）	0.0	△100.0～△80.0	△100.0～△77.3	－	－
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	3,498	254	204	218	42.84

２．修正の理由

当社グループは、ソーシャルメディアサービス事業におけるSNSマーケティング支援や、インキュベーション事業における自治体・教育機関等からの起業家育成支援の受託等による事業収益（インカムゲイン）と、インキュベーション事業におけるスタートアップ投資による投資収益（キャピタルゲイン）を組み合わせた「事業会社と投資会社のハイブリッドモデル」により事業を展開しております。

売上高につきましては、ソーシャルメディアサービス事業におけるSNSマーケティング支援の受注が堅調に推移していることに加え、インキュベーション事業において、政府のスタートアップ支援策を追い風に、自治体・教育機関等からの起業家育成支援の受託が安定的に推移していることなどから、概ね前回発表予想の水準で推移する見込みです。

一方、利益面につきましては、以下の理由により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

（１）中長期的な利益基盤の構築に向けた事業投資の実施

当社グループは、当期及び来期の利益確保にとどまらず、中長期にわたり安定的かつ継続的に利益を創出できる収益基盤の構築を重視しております。この方針のもと、収益基盤の強化に向けて、ショートドラマ事業やHR領域をはじめとする成長領域への先行投資を当期においても継続して実施しております。これらの投資は短期的には費用が先行するものの、将来の収益拡大に資するものと考えております。

（２）営業投資有価証券の売却見込額の見直し

インキュベーション事業におけるスタートアップ投資からのキャピタルゲインは、当社グループの事業ポートフォリオにおいて重要な収益源であり、その規模も大きいものとなっております。しかしながら、株式市場の市況が軟調に推移していることを踏まえ、当初想定しておりました営業投資有価証券の売却額を保守的に見直しました。保有する投資先株式につきましては、市況及び各投資先の状況を見極めながら、中長期的な投資収益の最大化を図る観点から、売却の時期を慎重に判断してまいります。

なお、修正後の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、その絶対額が小さい水準となり、わずかな変動によっても前回発表予想からの増減率が大きく変動し得ることから、特定値ではなくレンジ形式にて開示しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上